

魅力
ハッケン!

まずはこれをチェック! 海峡のシンボルをたずねて

津軽海峡をはさんだ青森県と道南地方を代表する山と祭り・イベントをご紹介します。
方言も似ているので、旅行の際に覚えて使ってみたいはいかがでしょうか。

「津軽富士」と称される、
津軽平野にそびえ立つ独立峰。

弘前市・
鯉ヶ沢町

岩木山

標高1,625mの岩木山は、「津軽富士」の別名を持つ
津軽平野のシンボル。見る場所・角度、見る季節、見る
時間などによって多彩な顔を見せてくれます。

場所 弘前市および鯉ヶ沢町

問合せ 岩木山観光協会 TEL.0172-83-3000

山頂からは
津軽半島一帯と
北海道も見えます!

見どころ

岩木山にはここだけの動
植物が息づいています。高
山植物では特産種のミチ
ノクサヅクラが有名です。



いなく馬の姿に似た、
渡島半島のランドマーク。

森町・
鹿部町・
七飯町

駒ヶ岳

森町・鹿部町・七飯町にまたがる標高1,131mの活火
山。渡島半島のランドマークとなっており、山頂部には
直径約2kmの火口原があります。

場所 森町・鹿部町・
七飯町

問合せ 森町役場防災交通課
TEL.01374-7-1282

大沼方面の山の形が
馬の姿に似ていることが
山名の由来でスノー!



見どころ

登山道からは前方に駒ヶ
峰、後方に大沼国定公
園と美しい大自然を楽し
むことができます。



ハネト衣装を
レンタルすれば
誰でも祭りに
参加できるよ!

見どころ

笛や太鼓の囃子と一体
となって、ハネトたちがエ
ネルギーに飛び跳ね
る姿は圧巻です。



時期/8月2日~7日

300万人を超える人で賑わう、
青森県最大の祭り。

青森市 **青森ねぶた祭**

日本を代表する火祭り。「ラッセラー、ラッセラー!」の掛け声
とともに、歌舞伎や歴史などを題材にした約20台の大型ね
ぶたが、短い北国の夏を勇壮に彩ります。

場所 青森市中心部

問合せ 青森観光コンベンション協会 TEL.017-723-7211

会場の
スーパーでは、
各店の味を食べ比べ
られますスノー!

見どころ

毎日18時のツリー点灯
と同時に花火があがります。
花火をバックに見る
ツリーは幻想的!



時期/12月1日~12月25日

美しいイルミネーションが、
冬の夜をファンタジックに彩る。

函館市 **はこだてクリスマス
ファンタジー**

函館市の冬を代表するイベント。約10万個のイルミネー
ションで飾られた巨大クリスマスツリーが、赤レンガ倉庫
前の海上を華やかに彩ります。

場所 函館市末広町
赤レンガ倉庫群前海上

問合せ 函館国際観光コンベンション協会
TEL.0138-27-3535

よく似ています!

青森県と道南地方の方言

青森県と道南地方は歴史的・文化的なつながりが深く、またお互いの地
域に移住した人も多いため、方言もよく似ています。風土や歴史から生ま
れた方言を知ると、その土地のことがよくわかりますよ。

① 共通している主な方言

- | | | |
|---------------|-------------|-----------------|
| ○あずまい(気分が良い) | ○たなぐ(持つ) | ○いだわしい(もったいない) |
| ○あめる(食物が腐る) | ○げっぱ(びり) | ○ごんぼはる(駄々をこねる) |
| ○あんべ(具合) | ○じえんこ(お金) | ○べつたらこい(ひらべつたい) |
| ○ねっばる(くつつく) | ○しゃつこい(冷たい) | ○もちよこい(くすぐりたい) |
| ○えふりこご(見栄っぱり) | ○すばね(泥はね) | ○ゆるぐね(大変だ) |
| ○からがく(しぼる) | ○わんつか(少し) | ○たいぎだ(面倒くさい) |

② 青森県の方言は大きく3つ

地理的・歴史的な背景により、青森県の方言は、「津軽弁」と「南部弁」、そして津軽弁と南部弁の中間
の特色を持つ「下北弁」の3つに分かれます。それぞれ違いが大きく、青森県民同士でも互いの方言が
わからないという場合もあるほどです。

「恥ずかしい」のことを...

- 津軽弁「めぐせ」
- 南部弁「はんずがしい」
- 下北弁「しよしい」

「だめだ」のことを...

- 津軽弁「まいね」
- 南部弁「わがね」
- 下北弁「わがね」

「うだで」はどんな意味?

- 津軽弁「気持ちが悪い」
- 南部弁「すごく」
- 下北弁「気が重い」

魅力
ハッケン!

2 熱気と感動が待っている! 伝統の祭りで盛り上がる

青森と道南にはさまざまな伝統行事がありますが、その中でも一番のにぎわいを見せるのがお祭りです。あなたも一緒に盛り上がりませんか?

最大で高さ23mを超える
山車の壮大な運行が魅力。

五所川原市

五所川原立俵武多

ごしょうわたねぶた

「青森ねぶた」「弘前ねぶた」と並ぶ青森三大ねぶたの一つ。明治中期から大正初期にかけて行われていたものが、1998(平成10)年に80年ぶりに復活しました。

場所 五所川原市中心街

問合せ 五所川原市観光協会 TEL.0173-38-1515

「立俵武多の籠」では
大型の立俵武多が
見学できるよ!

見どころ

高さ約23m、重さ約19トンの巨大な山車が五所川原市街地を練り歩く圧倒的な迫力が魅力です。



時期/8月4日~8日

盆踊りの時の
男女の恋の
掛け合いが起源と
言われているよ。

見どころ

流し踊りや、合間に躍る廻り踊りは飛び入り大歓迎。普段着で参加できます。



時期/8月14日~20日

編み笠に浴衣姿で練り踊る、
「日本三大流し踊り」の一つ。

黒石市

黒石よされ

「阿波踊り」「郡上踊り」と並ぶ日本三大流し踊りの一つ。民謡「黒石よされ」に合わせて、3千人もの踊り手が編み笠に浴衣姿で町中を練り踊ります。

場所 黒石市中心街

問合せ 黒石観光協会 TEL.0172-52-3488

舞の合間の
子ども達による
祝賀舞も、愛らしくて
大人気だよ!

見どころ

主役の太夫と呼ばれる舞手が馬の頭を象った烏帽子を被り、頭を大きく振る舞いが特徴です。



時期/2月17日~2月20日

その年の豊作を祈願する舞は、
八戸地方を代表する民俗芸能。

八戸市

八戸えんぶり

八戸地方を代表する民俗芸能で、国の重要無形民俗文化財にもなっています。種まきや田植えなど種作の動作を表現した舞でその年の豊作を祈願します。

場所 八戸市中心街

問合せ 八戸観光コンベンション協会 TEL.0178-41-1661

COLUMN

海峡ぐるっとこぼれ話

その2

青森

「ねぶた」はもともと
どんな意味?

津軽弁の「ねぶてえ(眠たい)」がなまって「ねぶた」や「ねぶた」になったと言われています。青森県内には、青森ねぶた、五所川原立俵武多のほか、弘前ねぶた、黒石ねぶた、大湊ねぶた、平川ねぶたなど、様々なねぶた・ねぶたが存在します。

道南

道南の祭りは
「山車」に注目!

道南には江戸時代から続く祭礼があり、その中には山車が運行する祭礼が多いのが特徴です。豪華絢爛な山車や囃子に京都祇園祭の影響が見られるのは、かつて北前船によって上方の文化が運ばれてきた名残と言われています。

370有余年の歴史を誇る、
北海道最古の勇壮な祭り。

江差町

姥神大神宮渡御祭

うばがみだいじんぐうとぎょさい

宝暦年間(1751~64年)に作られた「神功山」をはじめ、13台の豪華な山車や神輿が流暢な紙漣囃子に乗って練り歩き、江差のニシン景景を現代に伝える勇壮な祭りです。

場所 江差町内

問合せ 姥神大神宮祭典協賛実行委員会 TEL.0139-52-4815

北海道遺産の
第1号。飾りや囃子
に歴史を感じる
でスノー!

見どころ

巡業を終えた3基の神輿が参道の階段を駆け登る「宿(しゆく)入れ」は圧巻です!



時期/8月9日~11日

社殿で舞われる
神楽舞も優雅で
美しいでスノー!

見どころ

祭囃子が鳴り響き、武士の姿の御徒士行列や山車が町内を練り歩く様子は必見です。



時期/9月中旬の土曜・日曜

武士姿の「御徒士(おかち)行列」や、
御輿・山車が町を練り歩く。

上ノ国町

上ノ国八幡宮例大祭

江戸時代中期から続く祭り。町を練り歩く「御徒士行列」は、松前藩が上ノ国に敬意を表し、祭りの時だけ住人に武士の格好を許したことに由来します。

場所 上ノ国八幡宮境内と八幡宮周辺地区

問合せ 上ノ国町観光協会 TEL.0139-55-2121

行修者と呼ばれる4人の若者が、
厳寒の津軽海峡に飛び込む。

木古内町

寒中みそぎ祭り

1831(天保2)年から続く神事。行修者と呼ばれる4人の若者が、昼夜にわたって水ごりで身を清め、最終日には厳寒の海に入ってお神体を洗い清めます。

場所 佐女川神社境内

問合せ 木古内町観光協会 TEL.01392-2-2046

期間中は「寒中みそぎ
フェスティバル」も
行われるでスノー!

見どころ

厳寒の中、4人の行修者が厳冬の海へ入って1年の豊漁豊作などを祈願する姿は圧巻です。



時期/1月13日~15日